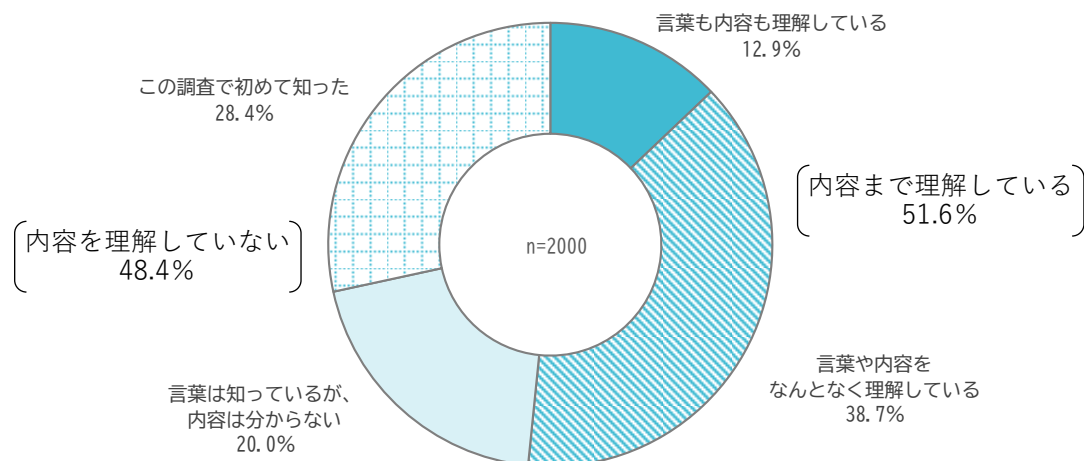


道民の意識に関するアンケート調査結果

令和7年(2025年)11月
北海道保健福祉部福祉局

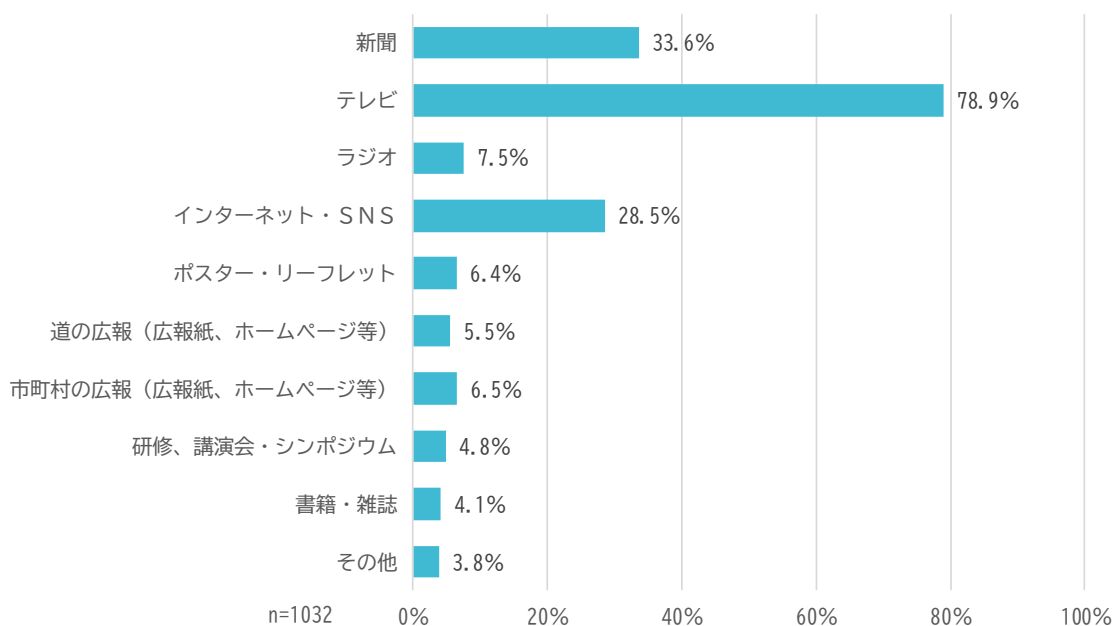
問1 あなたは、「ケアラー」や「ヤングケアラー」という言葉をどの程度ご存じですか。
次の中から1つだけお選びください。

「ケアラー」や「ヤングケアラー」の言葉の認知度をみると、「内容まで理解している」が51.6%で、「内容を理解していない」の48.4%を上回った。



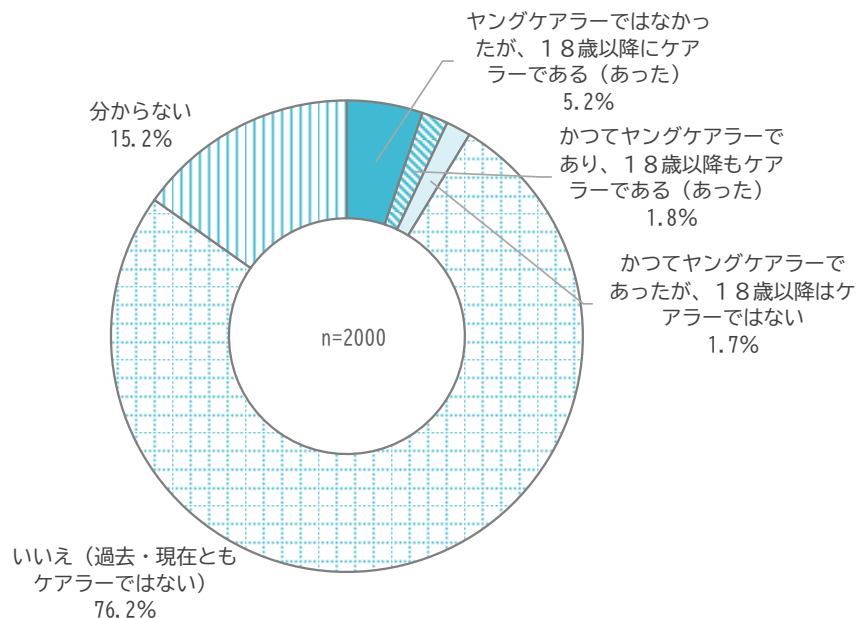
問2 「ケアラー」や「ヤングケアラー」という言葉をどのようにして知りましたか。
次の中からいくつでもお選びください。

「ケアラー」や「ヤングケアラー」の言葉を知ったきっかけをみると、「テレビ」が78.9%で最も高く、次いで「新聞」が33.6%であった。



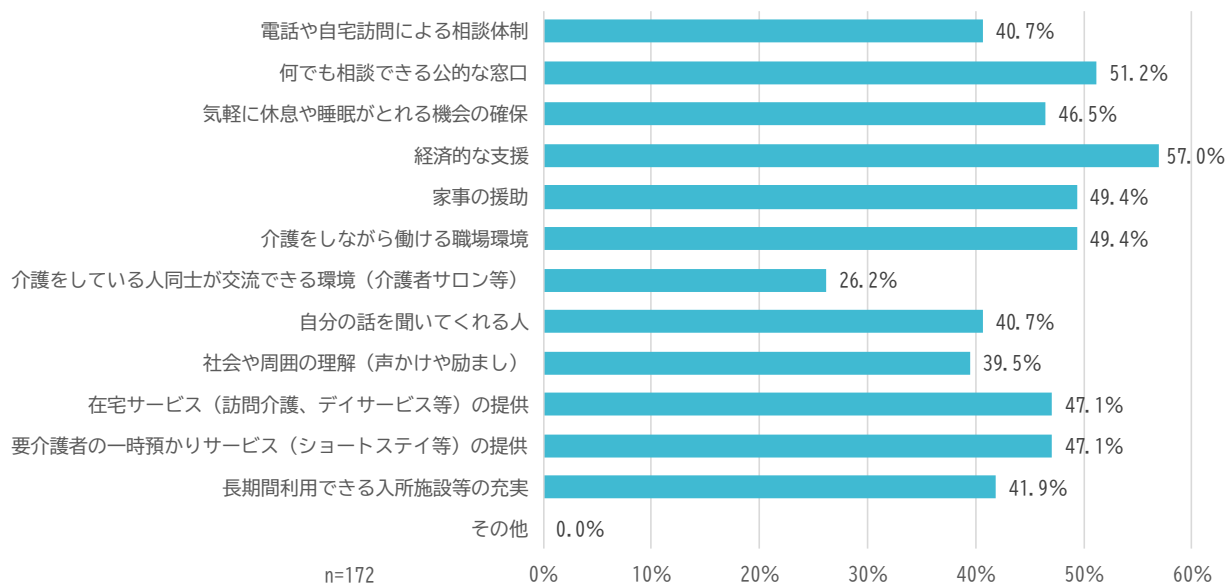
問3 あなたご自身は、現在ケアラーですか。又は過去にそうでしたか。
次の中から1つだけお選びください。

ケアラーの経験を見ると、「いいえ」が76.2%で最も高く、次いで「分からない」が15.2%であった。



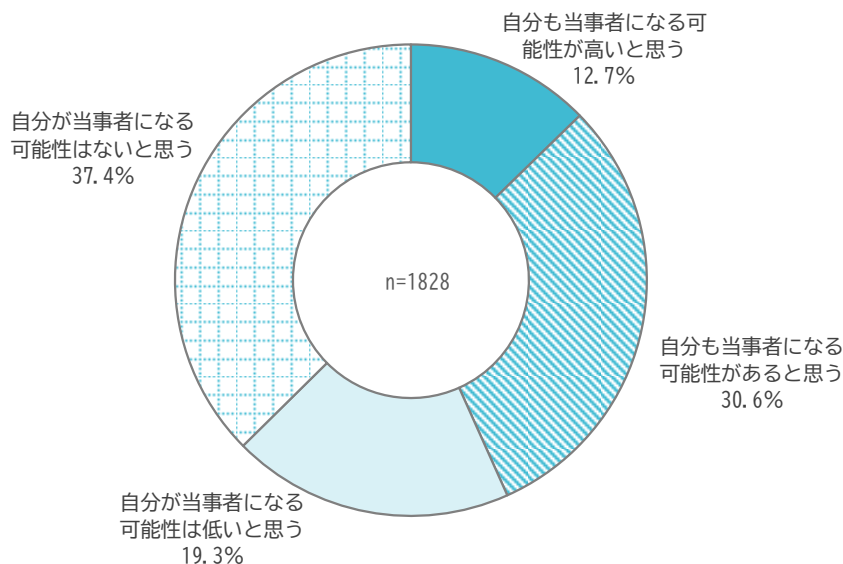
問4 「ケアラー」や「ヤングケアラー」に必要な支援・環境はどのようなものだと思いますか。
次の中からいくつでもお選びください。

ケアラーに必要な支援・環境をみると、「経済的な支援」が57.0%で最も高く、次いで「何でも相談できる公的な窓口」が51.2%であった。



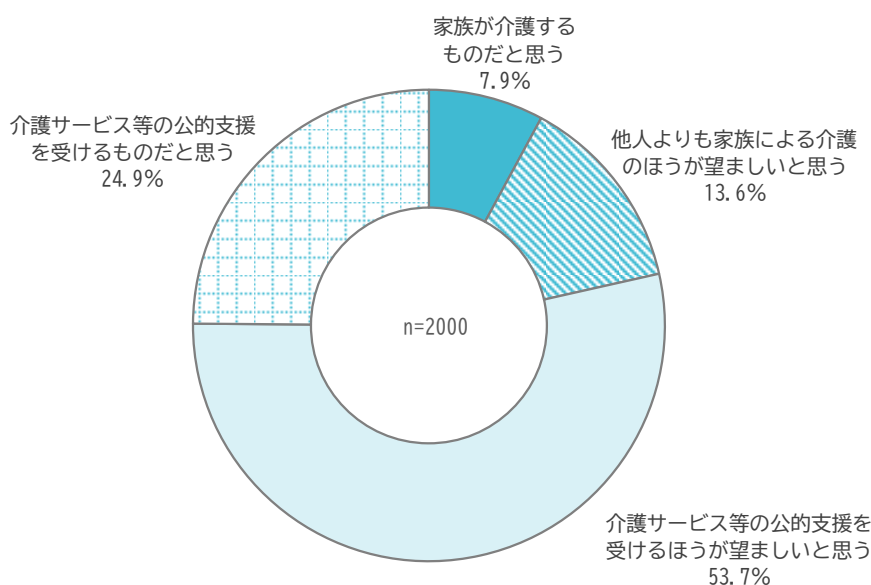
問5 今後、家族を介護する当事者の立場になる可能性について、どのようにお考えですか。
あなたの考えに最も近いものを、次の中から1つだけお選びください。

ケアラーになる可能性をみると、「自分が当事者になる可能性はないと思う」が37.4%で最も高く、次いで「自分も当事者になる可能性があると思う」が30.6%であった。



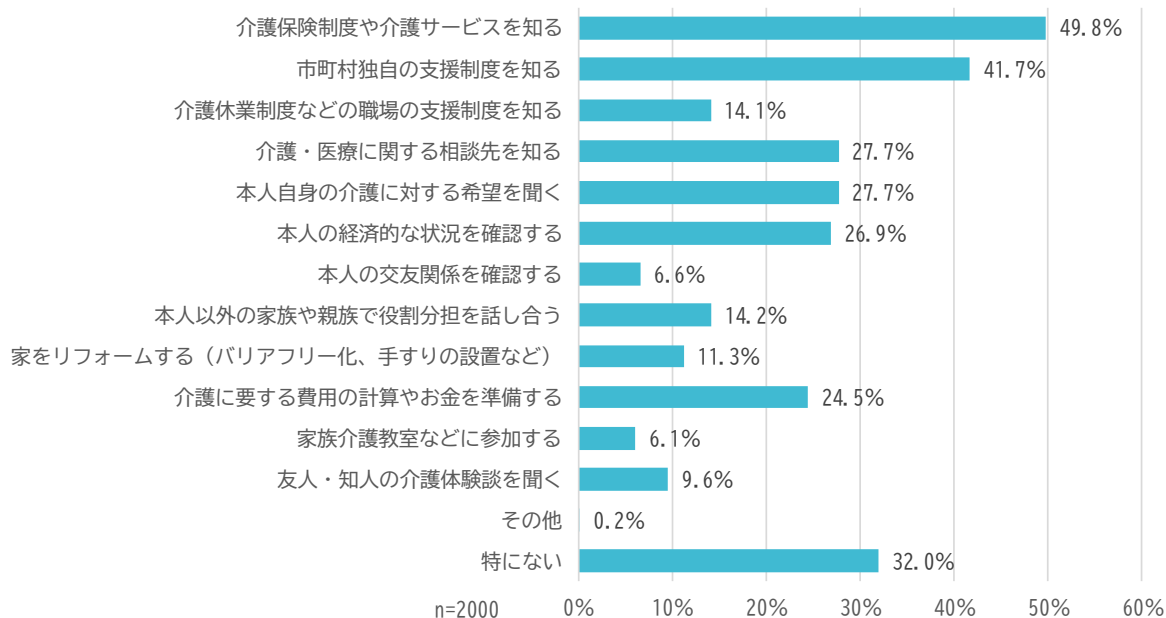
問6 家庭において家族を介護することについて、どのようにお考えですか。
あなたの考えに最も近いものを、次の中から1つだけお選びください。

家族を介護することについては、「介護サービス等の公的支援を受けるほうが望ましいと思う」が53.7%で最も高く、次いで「介護サービス等の公的支援を受けるものだと思う」が24.9%であった。



**問7 家族の介護に備えて、しておきたい(しておいたほうがよかった)ことは何ですか。
次の中からいくつでもお選びください。**

家族の介護に備えたいことをみると、「介護保険制度や介護サービスを知る」が49.8%で最も高く、次いで「市町村独自の支援制度を知る」が41.7%であった。



**問8 あなたが仕事をしながら介護をすることになったとき、仕事と介護を両立するために職場に求める支援・環境はどのようなものだと思いますか。
次の中からいくつでもお選びください。**

仕事と介護の両立のために求める支援・環境をみると、「手当等の金銭的なサポート」が50.1%で最も高く、次いで「柔軟な働き方」が40.9%であった。

